

平成 27 年度海外短期研修報告書

イギリス夏期英語研修（平成 27 年 8 月 24 日～9 月 11 日）

都市教養学部経営学系 2 年 小林 蓮

ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院（SOAS）への研修は英語そのものを学ぶためのものではありません。International Business Strategy, International Relations, Global Environment, International Media の 4 つの専門コースから選択して 3 週間学びます。私は専攻が経営と経済なので International Business Strategy を選びました。世界の中でも評価の高い SOAS ということもあり、クラスメイトのレベルが非常に高く、授業に慣れること、ついていくことで精一杯でしたが、英語を勉強するモチベーション、日本の経済、経営の授業に対する姿勢は非常に変わりました。授業内容は予習→授業本番→復習のサイクルで行われます。予習では授業本番で使われる発音の確認をしたり、株主や利害関係者などの難しい単語の意味を隣の人と英語で話し合います。専門的な内容を英語で話し合うのは相当難しいです。英語で授業を学ぶときは日本語での知識がどれだけ重要かということを知りました。ですから、日本の授業でしっかり自分の専攻を学ぶことや普段から何かに対して意見を持つことは非常に重要になってくると思います。もし、自分がその内容を把握していないと話し合いの時間は受け身になってしまいます。また、とにかく自分の意見を発信していくというのがロンドンのプログラムの特徴だと思います。ほかにもスターバックスの経営の仕方、戦略の記事を読みその内容について数人で話し合い、まとめて発表するなど日本の授業形態とは異なるやり方で授業が進められます。最後の週にはプレゼンがあり、調べる過程から非常に勉強になります。英語で書いてある文献を探し、みんなが分かりやすいように自分の言葉で工夫して原稿を作るのですが、先輩にダメ出しを受けながら質問に備えたり、より論理的な内容にするために夜遅くまでパソコンの前で試行錯誤していました。普段から授業を英語を使って学んでいないと非常に難しいプログラムではあると思いますが、3 週間学んだ英語力、必死に授業のレベルについていこうとする努力の経験、そして一つの記事や内容に対して自分の意見を持ち発信していく力は社会に出てからも必要な力になると思います。

次に首都大専用の授業について紹介します。首都大専用の授業は基本的に SOAS でどのように授業を受けるかを学びます。ノートの取り方、話しの聞き方など初歩的なところから説明してくれます。また、自分たちの授業を受けている時の問題点（専門的な単語の意味が分からない、授業で発言がなかなかできないなど）を解決してくれる時間があります。朝早く、自分たちが取っている授業の前に受けるので大変かもしれませんが、専門的な授業を受ける前のウォーミングアップには最適だと感じました。



短期留学ではたくさんの友達ができますが、SOAS の留学も例外ではなくたくさんの友達ができます。SOAS のプログラムは日本の夏休みにちょうど重なっていることもあり、日

本人の留学生が多いです。留学に行くと日本人以外と話したい、外国人の友達を多く作りたいと思う人が多いかもしれませんが、日本から **SOAS** に来ている他大学の人達は年齢も目標もそれぞれで、話をしていてすごく新鮮でした。私が考える日本人の友達のメリットは日本に帰ってから会ったり、頼ったりすることのできる点です。ですから、躊躇せずに日本人の友達も作ることをお勧めします。もちろん、外国人の友達もたくさん作ることができます。私のクラスは日本人 3 人、韓国人 1 人、中国人 4 人、ブラジル人 1 人、でしたので外国の友達もたくさん作ることができました。また、アクティビティが組まれているのでそれを通して他のクラスの友達とも仲良くすることができます。**SOAS** は図書館の質、授業の形態など日本の教育と違うところがたくさんあります。その違いを楽しみながら 3 週間学んでみるのもまた違った意味で勉強になると思います。

8 月下旬から 9 月中旬まででしたが、ロンドンは乾燥していて日本でいう 11 月中旬くらいの気候でした。**SOAS** は大英博物館やナショナルギャラリーが近く、ヨーロッパやイギリスの文化や伝統に触れるには最適な場所です。平均して授業は 15 時 30 分ごろには終わるので、放課後にロンドン観光の時間をとることができます。テムズ川沿いのビッグベンやロンドンアイの周りを散歩したり、ナショナルギャラリーでゴッホやルソーの作品を見ることができました。また、本場のミュージカル、ライオンキングには強く感動しました。会話内容を詳細まで理解することはできませんでしたが、大まかなストーリーはわかりやすく、質の高い演技の構成や音楽によって初心者でも楽しめました。休日は最寄りのキングスクロス駅からオックスフォードやケンブリッジに行き、世界最高峰の大学のキャンパスを外から見学したり、ロンドンとは違う古き良きヨーロッパの街並みの中を一日中歩きました。観光もしっかりできるので **ON** と **OFF** の切り替えができると思います。

次に生活の様子ですが、ロンドンの物価は日本の約 2 倍、ロンドン塔やバッキンガム宮殿は入館するだけで 3000 円と非常に高いです。毎日外食だと高くつくので、近くのスーパーに買い物に行き寮の中の共同キッチンで調理をしている人もいました。休日や放課後の移動についてはほとんどが電車やバスでしたが、ロンドンにはレンタルサイクルシステムと呼ばれるものがあり、1 回約 400 円で借りることができます。各地に自転車を停める拠点がありそこで借りたり、返却ができたりします。クレジットカードを持っていれば誰でもロンドンの街中を走ることができ、非常に便利なのでお勧めです。

私は **SOAS** に行く前の春休みの 3 月に首都大の春期英語研修を使ってカナダのヨーク大学で 1 か月間勉強してきました。通常、短期留学に 2 回行くときは優先度が下がってしまいますが **SOAS** の短期研修は上級の研修に位置付けられているため 1 回短期語学研修に行ったことがある人も優先度が下がることがありません。英語のみを学ぶ研修とは違う体験ができるので、英語で専門的な内容を勉強したいという人にはお勧めできます。是非 **SOAS** の夏期研修プログラムに参加して素晴らしい 3 週間を過ごしてみてください。

